

自動車アセスメントロードマップ(2017.3)(案)※

			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度～			
より安全な自動車の普及対策	予 防 安 全 性 能 評 価	被害軽減ブレーキ〔対車両〕		2014年度から評価開始								
		被害軽減ブレーキ〔対歩行者〕	昼間	試験・評価方法の検討	評価開始							
			夜間	調査・研究	試験・評価方法の検討		評価開始					
		高機能走行用前照灯		調査・研究		試験・評価方法の検討		評価開始				
		ペダル踏み間違い時加速抑制装置			試験・評価方法の検討			評価開始				
		車両後方視界情報提供装置		評価開始								
		車線逸脱警報装置		2014年度から評価開始		評価開始（車線逸脱警報装置評価と統合）						
		車線逸脱抑制装置		調査・研究			試験・評価方法の検討					
		その他（被害軽減ブレーキ〔対自転車〕、夜間前方歩行者注意喚起装置等）		調査・研究								
		総合安全性能		2014年度から評価開始、評価開始項目追加								
				評価方法の検討		評価開始項目追加、ASV++追加（71点満点）						
						評価方法の検討		評価開始項目追加				
						評価方法の検討			評価開始項目追加、社会損失額換算の見直し等を踏まえた評価の実施			
						評価方法の検討					普及期の評価方法から競争期の評価方法への変更	
	衝 突 安 全 性 能 評 価	乗員保護	前 面 （フルラップ）	1995年度から評価開始								
				試験・評価方法の検討							運転席ダミーの胸部閾値の変更	
			前 面 （オフセット）	2000年度から評価開始								
				試験・評価方法の検討							運転席ダミーの胸部閾値の変更	
			側 面	1999年度から評価開始								
											調査・研究	
		後面頸部保護	2009年度から評価開始				ダミーの検定方法の追加					
			助手席・後席シートベルトリマインダー		2001年度から評価開始							
		歩行者保護	頭 部	試験・評価方法の検討		衝突速度増、閾値の変更、アクティブデバイス評価方法の明確化						
			脚 部	試験・評価方法の検討		閾値の変更						
		その他（スモールオーバーラップ、ポール側突、後突燃料漏れ、後席の頸部保護等）		調査・研究								
		総合安全性能		2011年度から評価開始								
				評価方法の変更		歩行者保護評価閾値変更等を踏まえた補正						評価方法の変更、被害軽減効果の精査等を踏まえた評価の実施
				調査・研究		評価方法の検討						
事故後被害軽減性能評価	事故自動通報装置				評価方法の検討		評価開始					
予防・衝突等総合安全性能					評価方法の検討				評価開始			
啓 発					事故自動通報装置の紹介	事故自動通報装置装備車種の公表	後席シートベルト使用促進方法の変更					
より安全なCRSの使用促進対策	評価	前面衝突時安全性能		2001年度から評価開始		調査・研究						
		使用性		2001年度から評価開始								
	啓 発				・i-size対応CRS・車種の公表		・i-size対応CRS等の普及方策の検討					

※1 赤字は新規予定。

※2 適宜見直しを行うため変更があり得る。

「踏み間違い防止装置（ペダル踏み間違い時加速抑制装置）」の評価実施に向けて

1. 経緯

踏み間違い防止装置（ペダル踏み間違い時加速抑制装置）については、これまでロードマップ上、導入目標時期は掲げず、「他の予防安全装置」の一つとして、予防安全性能評価の候補とされていた。

また、当該装置については、平成 28 年 6 月にとりまとめられた「交通事故のない社会を目指した今後の車両の安全対策のあり方について」¹ において、自動車アセスメント等を通じた普及促進策を検討することが対策の方向性として示されている。さらに、昨年相次いで発生した高齢運転者による交通事故を踏まえ、平成 28 年 11 月には閣僚会議等が開催され、それらの関連会議において、今後の検討課題として予防安全技術の普及に係る検討が必要とされているところ。

以上を踏まえ、当該装置の評価実施に向けて今後の進め方を検討する必要がある。

2. 評価の実施に当たって検討すべき事項

（1）現状把握

- ① 事故実態
- ② 各メーカーの装置の状況
- ③ 過去の関連調査情報の整理

（2）課題の整理

- ① 事故実態に基づく評価対象事故の整理
- ② 装置の対応範囲の確認（現状及び将来）

3. スケジュール

社会的要請を踏まえて平成 30 年度（2018 年度）から評価を開始できるよう調整（スケジュール案）

- 平成 28 年度 ロードマップへの掲載、現状把握及び課題の整理を開始
- 平成 29 年度 試験・評価方法作成開始
- 平成 30 年度 評価開始

¹ 平成 28 年 6 月 24 日 交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会報告書